



### **Technical Data**

# PCRに対するPCR阻害剤EDTAの影響評価

デ価製品 リアルタイムPCR装置 LightCycler®96 System

(ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社, Cat.No. 05 815 916 001)

PCRでのEDTAの阻害効果について検証する

実験①: EDTAのPCR阻害効果測定 実験②: TEを想定したEDTAの影響

# 概要

EDTAはPCRを阻害する効果を持つことが知られている。

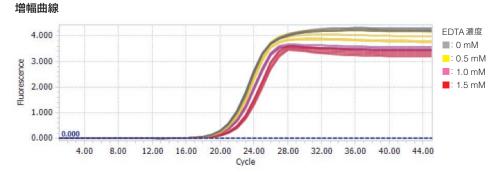
本テクニカルノートでは、その阻害効果がどのようなレベルでPCRに影響を与えるかを明らかにするために、実験を行った。その結果、普段の実験でPCR反応液に混入が想定されるEDTA 濃度で、Cq値を有意に変化させることがわかった。

## 実験①:EDTAのPCR阻害効果測定

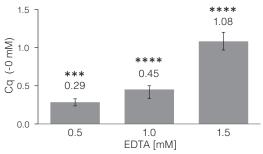
目的:阻害効果がどのようなレベルでPCRに影響を与えるかを明らかにする。

方法:PCR溶液中のEDTA含有量を変化させ、Cq値の変化を調べた。

#### 結 果



#### 比較Cq值(EDTA 0 mM)



有意差検定: 比0 mM Student T-test, \*\*\*p<0.001, \*\*\*\*p<0.0001

#### Cq値

EDTAL AND		4005 1
EDTA[mM]	hgDNA	. 10.0 [ng]
0	Ave	19.63
	S.D.	0.04
	C.V.	0.002
0.5	Ave	19.92
	S.D.	0.05
	C.V.	0.002
1.0	Ave	20.08
	S.D.	0.12
	C.V.	0.006
1.5	Ave	20.71
	S.D.	0.11
	C.V.	0.006
		(各 n=4)

PCR溶液中に0.5 mM EDTAが含まれるとCq値で有意なPCR阻害効果が認められた。



## 実験②:TEを想定したEDTAの影響

DNA保存に用いられる一般的な1×TE bufferには、EDTAが1 mM含まれる。このため、テンプレートDNAやPCRプライマーをTE bufferで保存し、これらをPCR反応に用いた場合、0.5 mM程度のEDTAがPCR反応液に含まれる可能性は十分に考えられる(<例>参照)。 そこで、TE buffer使用を想定し、追試として0.5 mM, 0.25 mMにおいて、EDTAによる阻害の影響を検証した。

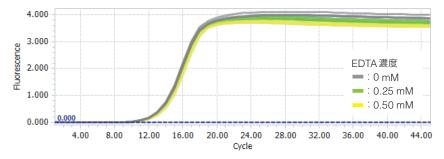
#### <例>: 反応液 (1 well)

2x KAPA SYBR FAST qPCR Master Mix	10.0 μL
10 µM Forward primer (1 mM EDTA含有)	1.0 µL
10 µM Reverse primer (1 mM EDTA含有)	1.0 µL
テンプレートDNA(1 mM EDTA含有)	5.0 µL
PCR grade water	3.0 µL

Total 20.0 µL → EDTAの終濃度: 0.35 mM

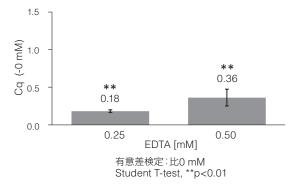
#### 結 果

#### 増幅曲線



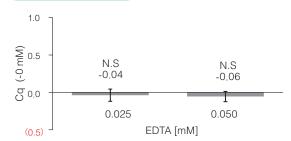
希釈倍率	EDTA[mM]		T-test
	_	Ave. 12.23	_
	0 _	S.D. 0.07	_
		C.V. 0.006	
		Ave. 12.42	
1	0.25	S.D. 0.02	0.002 **
		C.V. 0.001	
		Ave. 12.60	
	0.50	S.D. 0.11	0.002 **
		C.V. 0.009	
			(各 n=4)

## 比較Cq值(EDTA 0 mM)



TE buffer使用を仮定したEDTA濃度でもCq値に有意な差を 生じた。

# 補足結果



0.05 mM程度では、Cq値に有意な差を生じなかった。

# 結 論

EDTAは、TE bufferの使用など、実験作業工程の中で想定される範囲内の持ち込み量で、PCR結果に影響を与えるPCR阻害剤であることを確認した。



## 実験条件等

#### 実験①

● PCR反応液 (1 well)	
2x KAPA SYBR FAST qPCR Master Mix	10.0 μL
10 μM Forward primer	0.4 µL
10 μM Reverse primer	0.4 µL
Human genomic DNA	5.0 µL
EDTA solution	2.0 µL
終濃度 (mM)①0.0 ②0.5 ③1.0 ④1.5	
PCR grade water	2.2 μL
Total	20.0 μL

• PCR cycle Preincubation 95℃, 600 sec PCR (95°C, 3 sec→60°C, 20 sec) ×45 cycle Melting 95°C, 10 sec $\rightarrow$ 65°C, 60 sec $\rightarrow$ 97°C, 1 sec

● リアルタイム PCR装置 LightCycler®96 System (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社, Cat.No. 05 815 916 001)

実験回数:4

- 2x KAPA SYBR FAST qPCR Master Mix (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社, Cat.No. KK4601, Lot No. 0000103958)
- Human genomic DNA 10.0 [ng] (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社, Cat.No. 11691112001, Lot No. 10009523)
- 0.5 M EDTA (pH 8.0) (ニッポン・ジーン, Cat.No. 311-90075)
- PCR primer (Gene: ACTB)

Forward: TCACCCACACTGTGCCCATCTACGA Reverse: CAGCGGAACCGCTCATTGCCAATGG

#### 実験②

テンプレートDNA: PCR 増幅産物希釈溶液を使用

その他実験条件:実験①に準じた。

